



2019年5月10日

各位

会社名 マミヤ・オーピー株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 聡
(コード:7991、東証第2部)
問合せ先 総務部長 福田 誠
(TEL. 03-6273-7360)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2019年3月期(通期)の個別業績値と前期実績値との差異 (2018年4月1日~2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2018年3月期)	百万円 5,079	百万円 △13	百万円 △38	百万円 932	円 銭 100.29
当期実績(B) (2019年3月期)	百万円 6,444	百万円 624	百万円 1,149	百万円 1,027	円 銭 112.12
増減額(B-A)	1,365	637	1,187	95	
増減率(%)	26.9	-	-	10.3	

2. 差異が生じた理由

2019年3月期の当社電子機器事業は、遊技業界におけるギャンブル等依存症対策強化に向けた規制強化の影響などにより、2018年中において遊技場数および遊技機台数に大幅な減少が見られるなど厳しい事業環境が続いておりましたが、長期間に渡って遊技機周辺設備機器の新規設備投資に慎重な姿勢を見せていたパチンコホールの潜在的な更新需要を捉えることができました。また、引き続き電子部品販売は好調に推移し、自社ブランド製品である小型券売機「Operal(オペラル)」の積極的な販売活動の推進により、カスタマイズ案件の大口受注等を獲得することができました。そして、これまで粘り強く取り組んでまいりました徹底したコスト削減の効果等もあり、個別業績は前期と比較して、売上高、営業利益及び経常利益が大幅な増収・増益となりました。

以上